

第5回 多摩まちづくり推進連絡会議

議事概要

1. 日 時 令和5年2月3日（金）15:00~17:00
2. 場 所 二庁ホール及びWEB会議により開催
3. 議 事
 - 1 「多摩のまちづくり戦略(仮称)」の基本的考え方について
東京都都市整備局
 - 2 ご講演①「多摩エリアよもやま話」
多摩大学 経営情報学部教授 長島 剛 先生
 - 3 ご講演②「公共空間の新たな可能性について」
東北芸術工科大学教授 馬場 正尊 先生
 - 4 ご講演③「グリーンインフラを活かした「みどりのまちづくり」
NPO法人Green Connection TOKYO代表理事 佐藤 留美 先生

主な内容

○議事1 要旨：「多摩のまちづくり戦略(仮称)」について、都市計画区域マスタープランで位置付けられた拠点に加え、デジタルの活用やイノベーション、新たな交通ネットワーク等の進展を踏まえて先進的なまちづくりに取り組む地区をハード・ソフト含めて位置づけていく等、現在の検討状況と今後の予定を報告した。

○議事2 ご講演①要旨：多摩には多くの方が働いており、その人材を活用し共創していくことや昼間人口を活かしたまちづくりが重要。大学と自治体、企業の連携・共創について考えるTAMA-SILを多摩大学、八王子市、日野市で実施している。自治体と大手企業の事業所と共創する「公民連携」、金融機関と共創する「公金連携」、近隣の自治体と共創する「広域連携」、都市計画・産業・福祉など役所の中で共創する「庁内連携」の4つの連携が重要との示唆を得た。

○議事3 ご講演②要旨：公共空間を変えることで地域の価値が上がり、都市の風景を豊かにし、人が集まる。公共空間再編に向けたプロジェクト創出のきっかけ、整備・マネジメント方法、資金調達、その後の街の変化等、様々な事例をご紹介いただき公民連携の重要なポイント（企業と行政が一緒になって取り組むためのミッション、デザインとマネジメントの融合、パブリックとプライベートの中間領域の活性化、大手企業の資本力信用力と地元企業のフットワークの軽さを連携させることの効果、マネジメント組織の創出の仕方等）を示していただいた。

○議事4 ご講演③要旨：現在、パークPFI、グリーンインフラなど公園緑地への期待が高まっているが、みどりの力を引き出し、まちづくりに活かしていくには、公民学の力を集結することが必要。新たな公園管理や多面的活用の効果等、多くの事例をご紹介いただいた。海外の公園では、みどりの中間支援組織が活躍し、公園とまちの資産価値を高めている。日本でも指定管理事業に中間支援組織を組み込み、エリマネ的なパークマネジメントを展開し、成果をあげている例がある。多摩には、多くの緑がある強みがあり、これらをまちづくりに活かす視点を持って、自治体内の部署間連携、自治体間連携、民間連携を推進すると大きな相乗効果が生まれる。さらに連携をつなぐハブとして、みどりの中間支援組織の役割と可能性を示していただいた。

以上